

質問順位は、議会の申し合わせにより決定しています。なお、紙面は要約してありますので、詳しくは9月中旬に会議録または市議会ホームページをご覧ください。

一般質問

登壇者と通告項目

中村 利久（政清会）
市長の政治姿勢、上花輪浄水場

西村 福也（公明党）
防災・減災対策

遠藤 達也（みん清クラブ）
災害・緊急時の備蓄など、災害・緊急時とそれに備えた情報提供、不法投棄、駅前の路上喫煙

松本 睦男（日本共産党野田市議団）
市長の政治姿勢、国保行政、水道行政、行政改革、交通安全問題

岡田早和子（市民ネットワーク）
（有）柏庭材処理センター公害問題、利根川水系で発生した水質事故の対応等、上花輪浄水場問題等、井戸水の登録制

長南 博邦（新社会党）
断水問題、脱原発自治体宣言、福島の子供たちの保養ステイ受け入れ、宅地開発指導要綱、省エネ対策、とんとんみずき橋

竹内 美穂（政清会）
自主防災、AED

織田 真理（日本共産党野田市議団）
原発再稼働、放射線量の民有地の測定及び除染、放射能の除染にかかわる「人員」、放射能汚染物質の「仮置き場」、放射能汚染による健康診断、断水問題、ごみ行政

小室美枝子（市民ネットワーク）
エネルギー政策における市長の見解、野焼き、文部科学省が配付した「放射線等に関する副読本」

千久田祐子（日本共産党野田市議団）
教育行政、特定健康診査、空き家対策、指定文化財の保存

市政運営方針については

中村 利久
議員

■質問 市政運営6期目の政策は、これまで同様市民の意見を聞きながら進めていくと思われるが、今後の運営方針について伺う。

□答弁 市長に就任して以来、一貫して東葛一満足度の高いまち、生活満足度の実感できるまちを目指し、さらに、合併後の新市の一体感あるまちづくりのために、さまざまな施策に取り組んできた。首長の資質は、政策の実現に向けた強いリーダーシップが一つの重要な条件になると考えて

おり、過去を振り返ると、浸水対策やごみ減量対策の実施を初め、各種福祉施策の充実、さらに剪定枝や牛ふんもみ殻、牛ふん稲わら堆肥による減化学肥料栽培と玄米黒酢による米づくりを推進し、有機農業の確立を図るなど、これまで数多くの成果を上げてきたと思

っている。それぞれの期ごとに重要なテーマを絞り仕事を進めさせていただいており、ある程度の達成感もある。時代の変遷とともに行政の課題は刻々と変化し

ていく中でこの変化を敏感に捉え、時代の要請に応えるべく、6期目のテーマとして防災対策と安全安心なまちづくりの推進や持続可能な農業の確立と生物多様性の充実など10の政策の柱を掲げ、活力ある魅力的な野田市をつくりあげること

に全力で取り組んでいく考えである。

■質問 気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、地方公共団体が発信する災害避難情報などを対象エリアにいる人が受信できる携帯電話向けサービスについて、市は導入を検討したかどうか。

□答弁 新たな情報発信手段として、エリアメール及び緊急速報メールについて、8月1日から導入したいと考えている。従来から実施しているまめメールと異なり、事前登録が不要で、メール発信時に市内にいれば携帯電話に送信される。配信できる情報は緊急情報や生命に危険がある場合等に限定され、利用できる携帯電話の機種も現在のところ

緊急速報のメールの活用について

西村 福也
議員

災害、緊急時のための 備蓄について

遠藤 達也 議員

■質問 緊急時に備えて市の支援体制を強化することが必要ではないか。そこで①現在の備蓄数量は。②今後備蓄を増やす予定は。③どのような計画で進めるのか、伺う。

□答弁 市内11カ所の公共施設に食料を約3万2千食、保存飲料水を約1万3千リットル、毛布を千枚、簡易トイレを147個及び防水シート約400枚、救急の医療器材が6セット、発電機18台の資機材などを備えている。避難場所を開設後にすぐ必要となる物

■質問 上花輪浄水場を廃止し、老朽化に伴う費用（建てかえに50億円、高度浄水処理に20億円）を古い水道管の交換に使いたいという方針を職員も知らないまま市長の独断で決めた。平成23年度の水道事業長期計画では、現状の処理状況に関する詳細な調査や供給水質の目標値の設

品を、避難場所となる各小中学校に今年度から3カ年計画で新たに購入する。断水に対する備蓄は、2千リットルの給水車1台、2千リットル容量の給水タンクが430個ある。給水袋は合計1万枚あるが、計画的に追加購入する。さらに2千リットル容量の給水車1台を追加購入する。今後、県防災計画の見直しにより、備蓄量や市町村の支援方法が修正されるため、市も見直し後の地域防災計画に合わせて対応策を講じていきたい。

定を行った上で、今後の望ましい浄水処理方式のあり方が検討事項となっていた。

しかし、何の金額的な数値の試算もされず、正確な情報を提示できる段階ではな

上花輪浄水場問題 市長の情報操作では

岡田 早和子 議員

いの新聞発表をしたのは、情報操作ではないか。

□答弁 上花輪浄水場につ

いては、選挙前の公開討論会の席と、さらに当選後の記者会見でも申し上げた。



北コミュニティセンター備蓄倉庫

国保行政について

松本 睦男 議員

■質問 国保税の差し押さえ件数等が近隣市と比較して多いことと、国保運営の広域化に対する市長の考え方を伺う。

□答弁 差し押さえ件数等が近隣市と比較して多いのは、他市は国保税の徴収事務を賦課担当課で行うのに対し、当市は国保税も市税とともに収税課で徴収事務を行うことで包括的な滞納整理を実施し、徴収強化を図っている結果であり、国保運営の広域化の先取りというものではない。千葉県国民健康保険財政安定化等支援方針にかかわらず、以前から被保険者間の負担の公平、公正の確保と国保税収入の確保のため、積極的

このアイデアは私自身前々から思っていたもので、中期的な課題として取り組むことにしていたが、今年5月の水質事故で断水や赤水を長時間流してしまったことで、もう一度議論をしてみなければいけない話になったもので、独断で決めたものではなく、事情が変わったためである。最終的に

に滞納整理を実施している。国保運営の広域化は、基本的には推進する立場であるが、大部分の保険者は国保の構造的な問題により、不安定な事業運営を続けており、このままでは制度が立ち行かなくなることを危惧している。国民皆保険制度を維持していくことはもとより、国保財政運営の安定化及び市町村間の保険料負担の公平化の観点からも国保運営の広域化は必要と考える。ただし、国保の構造的な問題に抜本的に対処するため、安定的かつ持続的運営ができるよう財源の確保が必要であり、全国市長会を通じ国保財政基盤の拡充、強化等を働きかけている。

は北千葉広域水道企業団の施設を使わせてもらうことの了解や料金体系もかわってくるため、構成団体との調整が必要になり、費用の面も含め、メリット、デメリットを検証し、情報提供しながら、市民の皆様に意見を聞き、意見が分かれる場合には住民投票も視野に入れ検討していきたい。

■質問 昨年に引き続き市は省電力を進めようとしているが、単なる消灯大作戦だけを行うのではなく、積極的な省電力を図っていただきと思う。例えば事務室の蛍光灯を反射板つきFHF蛍光灯に切りかえ、市庁舎の電気式エアコンをガスエアコンに切りかえることのでかかなりの省エネが達

成される。照明で言えば2本の蛍光灯が1本で済むため、画期的な省電力になり、

省エネ対策の取り組みは

長南 博邦 議員

□答弁 昨年度、管財課など関係4課で研究会を立ち上げており、ファシリティ

HF蛍光灯への更新は、電気消費量の削減が明らかに見込める一方で、現在のところイニシャルコストが相当高く、いかに更新費用を抑えられるかが課題となっているが、市場自体の競争性が高く、価格ももつと下がる可能性があるため、今後複数のメーカーから更新の提案を求めるなど情報収

集を進め、課題の解消に努めたい。また、ガスエアコンについては、既に本庁舎や文化会館などでガスの空調運転を行っているが、小規模施設では電気式空調が主となっており、それぞれの長所と短所があるため、施設の状態に応じて費用対効果を検証した上で検討を進めていきたい。

自主防災組織の

現状と問題点は

穂田 美織 議員

■質問 自主防災組織について、平成21年6月議会において質問をした際、市の組織率が全国や県の平均に比べ非常に低かったが、その後東日本大震災が発生し、市民の意識も高まり、結成も増えていると予想されるが、現状と問題点について伺いたい。また自治会が中心となって結成されているのが大半だと思うが、住民の自治会への加入率とそれぞれの地域に合ったコミュニケーションづくりについての見解は。

□答弁 自主防災組織は、7月10日現在で187組織が結成されており、組織率は45・1%である。21年6月議会のときと比較すると、36団体が新たに結成され、東日本大震災により市民の防災意識が高まり、災害時の共助の必要性が徐々に浸透していると思われるが、全国や県の平均と比較するとまだ低い数値のため、今後組織の役割や必要性等について説明し、設立の促進を図っていききたい。また、自治会の加入率は、24年4

放射能汚染物質の「仮置き場」は

織田 真理 議員

月時点で74・80%で、減少しており、新たな自主防災組織の設立にも影響があることから、各地域の特性を生かしながら若い世代にも自治会に加入してもらい、高齢者とともに参加できるようなコミュニケーションづくりを進めていただくことによつて、加入の促進が図ればよいと考えている。

■質問 放射能汚染物について、現在仮置き場となっている場所と、それぞれの放射線の数値は。また、どのくらいの量が保管されているのか。

□答弁 側溝汚泥については、保健センター東側に水槽タンク2基を置き、周りを鋼板によるさく板で囲い、脱水による中間処理したものを大型土のう袋に詰めた39袋を一時保管した。中間処理後の放射性物質濃度が、通常の産業廃棄物として処分できる値の1キログラム当たり千741から2千209ベクレルであることが確認されたことから、7月14日にすべてを搬出した。搬出後の仮置き場周辺の放射線量は

一般質問／インターネット中継

エネルギーを生み出す まちづくりについて

小室美枝子
議員

■質問 福島第一原発事故後、脱原発をめざす首長会議の賛同人となった市長は、エネルギーの地産地消の方向性を示していくべきだと考える。国においては8月に、今後のエネルギー政策の方向性を決定する中で、首長としての考えを伺いたい。また、発電を原子力で賄わなければならない理由は、私にはひとつも見つからない。自然再生エネルギーへの取り組みが必要だと考えるが、市で実現する可能性のある発電方法は何か

あると考えているか。

□答弁 脱原発をめざす首長会議は、速やかに再生可能エネルギーを地域政策として実現することを積極的に進めていかなければならないという設立趣旨で、ストレートに反対と申し上げていないが、自分自身は脱原発という言葉でかじを切っており、この方針を変えつつもりはない。自然再生エネルギーへの取り組みについては、やれるものを積み上げていくしかないと考えているが、水力に頼るの

インターネットで
本会議の生中継・
録画放映がご覧
になれます。

は難しいのが現状だと思っており、すぐに軌道に乗せられる可能性があると思えば、太陽光発電だと思っている。既に県から補助金をもらい助成を行っており、今年度分については非常に好評で既に募集が終了している。追加でやっていくことになれば、市の単独事業として実施することになるが、今後補正予算も含め協議していきたい。

インターネットに接続することにより、ご自宅でも本会議の様をご覧になることができます。放映は本会議のみで、生中継と録画放映を行っています。録画放映は、本会議開催日のおおむね3日後（土・日・休日は日数から除く）から視聴できます。

議会中継を視聴する場合には市議会ホームページの「議会中継」をクリックし、操作方法等を読んでからご覧ください。



市議会ホームページの「議会中継」

■質問 学校図書館の重要性が叫ばれる中、平成23年度においては司書を7人雇用し、小中学校7校に派遣をしているが、派遣されない学校の図書館はほとんど利用されず、本の倉庫になっっていないかと懸念する。市では赤ちゃんのとときから本に触れ合うブックスタートという素晴らしい環境が

できているのに、なぜ全校に図書館司書を配置できないのか。

学校図書館司書の 全校配置は

千久田祐子
議員

千久田祐子
議員

□答弁 学校図書館司書は、学校図書館活用の充実を図るため、蔵書の整理や図書

の整備をお願いしている。さらに、学校地域支援本部との連携や公民館の養成講

の貸し出しなどをボランティアを中心自主的な図書室運営ができるような体制

座を通じ、ボランティアの発掘や養成に取り組んでおり、自主的な運営が軌道に乗ってきている学校も幾つかあることから、すべての学校への配置は考えておらず、運営が軌道に乗っていない学校を中心にシルバーライフ施策の図書館司書を配置して、充実を図っていきたいと考えている。



整備が進む学校図書館

臨時会を開催

5月8日(火)に開催された平成24年第3回臨時会において、議案4件・専決処分の承認2件を審議しました。

◇議案第1号 市税賦課徴収条例の一部改正

(提案理由) 地方税法及び国有資産等所在市町村交付金法の一部改正に伴い、年金所得者の寡婦(寡夫)控除に係る申告手続の規定を整備しようとするもの。

◆全会一致で可決

◇議案第2号 買物便利拠点の指定管理者の指定

(提案理由) 買物便利拠点の指定管理者として、野田業務サービス株式会社を指定しようとするもの。

◆賛成多数で可決

◇議案第3号 平成24年度一般会計補正予算(第1号)

(提案理由) 歳入歳出予算、債務負担行為及び地方債の補正であり、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ7,630万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ473億7,930万1,000円にしようとするもの。

◆賛成多数で可決

◇議案第4号 印鑑条例の一部改正

(提案理由) 住民基本台帳法等の改正に伴い、印鑑登録原票の登録事項等について所要の改正を行おうとするもの。

◆全会一致で可決

会議録をご覧ください

市議会だよりに掲載の審議内容や一般質問は紙面の都合により要約してありますので、詳しい内容は会議録をご覧ください。会議録は次の場所で閲覧することができ、9月中旬頃配置する予定です。

- ◇市内各図書館
- ◇市内各公民館
- ◇谷吉会館、七光台会館、島会館、関宿会館
- ◇議会資料室(委員会会議録も含む)
- ◇情報公開コーナー(市役所総務課内)

会議録及び委員会の会議録は市議会ホームページでも、ご覧いただけますのでご利用ください。

閉会中継続調査事項／請願・陳情のご案内

各常任委員会、議会運営委員会が
閉会中継続調査事項を決定

次の所管事務調査事項に基づいて、閉会中も調査を継続するとともに、委員派遣による視察調査等を実施することになります。

【総務委員会】

- ① 行財政改革、事務改善、市税等の滞納対策、財政について
- ② 住民サービスの充実と情報化施策、国際交流について
- ③ 人事制度と情報公開、個人情報保護について
- ④ 債権・公有財産、入札改革と選挙制度、監査制度について
- ⑤ 広報・広聴について

【環境経済委員会】

- ① 国民健康保険、国民年金について
- ② 産業・観光振興及び雇用対策、中心市街地活性化について
- ③ 清掃行政、自然環境の保全、公害対策及び農業施策について
- ④ 消費生活問題、防犯・防災対策、放射能対策、交通安全対策について
- ⑤ 消防、救急医療について

【文教福祉委員会】

- ① 高齢者福祉・社会福祉・児童福祉について
- ② 人権、男女共同参画について
- ③ 保健衛生・医療体制の充実について
- ④ 学校教育と学力向上について
- ⑤ 生涯学習、文化振興、学校施設整備、スポーツ施設について

【建設委員会】

- ① 都市基盤・都市計画道路・生活関連施設の整備について
- ② 町並み、景観保存整備について
- ③ 駅周辺のまちづくり・中心市街地整備事業について
- ④ 公園・緑地・水辺環境整備、水防について
- ⑤ 上下水道の整備について

【議会運営委員会】

- ① 議会の運営に関する事項について
- ② 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項について
- ③ 議長の諮問に関する事項について
- ④ 議会の広報広聴について
- ⑤ 議会の活性化について

請願・陳情をされる方へ

要望等を市政に直接反映させるための方法として、どなたでも請願書や陳情書を議会に提出することができます。

提出された請願・陳情は郵送及び市外からの陳情を除き、市議会で慎重に審査（本会議に報告し、委員会に付託）した後、最終的な結論（採択・不採択）を出して提出者に通知します。

採択した請願・陳情で、執行機関で処理することが適当なものについては、市長や関係機関に請願書・陳情書を送付し、その実現に努力するよう求めます。

書式例

- ☐ 受付は随時行っていますが、審査は定例会開催月の前月末日（前月末日が休日の場合はその翌日）までに提出されたものについて行います。
 - ☐ 請願書・陳情書には趣旨と項目、提出年月日、住所、氏名（団体の場合は名称と代表者名）を記載したものを市議会議長あてに提出してください。請願書には紹介議員の署名が必要となります。提出に際しては、事前に議会事務局までお問い合わせください。
- 【問合せ先】 04-7125-1111（内線3314）

〇〇〇〇請願（陳情）
（請願、陳情しようとする件名）
紹介議員 〇〇〇〇（陳情は不要）
請願（陳情）趣旨
請願（陳情）項目
平成〇〇年〇月〇日
（宛先）野田市議会議長
請願（陳情）者
住所 〇〇〇〇〇〇〇〇
氏名 〇〇〇〇